



左：首都直下地震への備え講義、右：実技訓練（いずれも新型コロナ流行前の写真です）

千葉第57期千葉市 災害救援ボランティア講座

<講座日程>

2022年 9月23日（金・祝）・24日（土）

<講座会場>

千葉市消防局・中央消防署 講堂

主 催：公益財団法人 日本法制学会
災害救援ボランティア推進委員会
千葉県災害救援ボランティア推進委員会
共 催：公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
後 援：総務省消防庁・NHK・千葉県・千葉市



受講までの流れ

①受講申込書をご送付下さい

別紙の受講申込書に記入のうえ、事務局までFAXまたは郵送にてお送りください。

②受講資料と受講料振込用紙が届きます

講座初日の約1ヶ月前に、受講書類（諸注意・地図等）と受講料振込用紙がお手元に届きます。

③受講料をご入金下さい

受講料を期日までにご入金ください。入金確認ができた方は、講座受講中の不慮の事故発生に備えて、事務局で一括して保険加入手続きをいたします。

④当日、会場へお越し下さい

認定証の交付

<セーフティリーダー認定証>

講座の全科目を修了し、成果が確認された方には、災害救援ボランティア推進委員会より【セーフティリーダー認定証】が交付されます。

セーフティリーダーの認定と活動

講座を修了したセーフティリーダー（SL）は、【公益社団法人 SL災害ボランティアネットワーク】に入会することができます（22年は2日間で開催）。入会すると、SL災害ボランティアネットワークより各種行事・訓練・施設見学会等のお知らせ及びニュースレターなどをお送りします。

さらに、希望者にはボランティア保険の加入や、【SL制服】の貸与も可能です。SL制服は平時、災害時を問わず使用することができます。ぜひ、講座を受講し、SLとして一緒に活動をしましょう。



合同防災訓練で啓発活動をするSL

SL 災害ボランティアネットワークのホームページ
URL : <https://www.sl-saigai.com/>
上記 URL または右の QR コードからご覧ください！



★千葉市SLネットワークのご紹介★

本講座を修了したSLは、地元のネットワークである千葉市SLネットワークで地域密着型の防災活動を展開し、幅広く活動しています。活動の内容は、下記のQRコードからご覧いただけます（千葉市社会福祉協議会 HP 内）。



お問合せ先

《災害救援ボランティア推進委員会 事務局》 … 受講申込書はこちらにお送り下さい …

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル 3 階

TEL 03-6822-9900 FAX 03-3556-8217 URL <https://www.saigai.or.jp/>

午前 9 時半～午後 5 時（土日・祝日を除く） ※受講申込書はホームページからダウンロードできます。

私たちの思い

私たち、災害救援ボランティア推進委員会は、1995年1月17日の阪神淡路大震災の教訓を生かすべく発足された災害ボランティア団体です。すでに首都圏で11,500人以上の講座修了生がいます。

1995年は「ボランティア元年」といわれています。戦後の日本で市民が自発的に被災地へ入り救援活動を始めた、象徴的な震災だったといわれているからです。しかし、当時は、「助けて欲しい人」のところに「助けたい人」の思いが伝わりにくかったこともありました。

当時、政府の中枢で災害対応に当たられた元内閣官房副長官の石原信雄氏が、その体験を下に首都圏での大規模災害が起きたときに備えて「災害救援ボランティア養成」が急務であると声を上げました。

その思いに応じて公益財団法人日本法制学会の組織内に「災害救援ボランティア推進委員会」を立上げ、広く学生や市民に呼びかけて「災害救援ボランティア講座」を始めました。

この講座は、「資格取得」を目的とした講座ではありません。被災地での活動が主たる目的でもありません。災害が起きる前の日頃の「減災・災害対応・危機管理」などを含めた地域の防災活動に取り組む「ボランティア活動者」を養成するものです。そして、災害が起きたときには、わが身わが命は自分で守り、その上で周囲の人々を助ける活動ができる人材育成を目指します。やがて、その力は、他の場所での災害救援活動でも役に立つ力になると信じているからです。

ここ千葉市では、2017年以来5年ぶりの講座開催となります。

本講座を修了したセーフティーリーダー（通称：SL）は、千葉市SLネットワークに加入し、地域と一体となって防災・減災活動に取り組んでいます（他地域の方はお住まいのネットワークをご紹介することも可能です）。ぜひ、奮ってご受講ください。

修了生の声



実際私は災害についてどこか安易に
考えている部分があった。
しかし、今回の講座を受けて
とても身近なものであるように感じたし、
また防災の重要性も改めて
思い知らされた。（20代男性）

ボランティア活動とは何かを今一度考えさせられた。
誰かがやるだろう、やってくれるだろうではなく、
自分にできることの中で、必要性があるなしの判断力が
大切なこともあると思った。（30代女性）

自分自身を守ることの大切さ、非常時に自分ができることを
実行することで被害が少なくなることを実感した。

また、非常時は、県市町村を頼るより市民一人ひとりが自分
の住む地域を守ることがいかに大事かわかった。（50代女性）

気楽な気持ちで参加するつもりだった。

1日目、2日目、3日目と進んでいくと、その重要さに
他人事でないこと大切なこと、責任の重さをひしひしと感じた。
第二の人生は大いに地域社会に役立ちたい。（60代男性）

※今年は2日間の開催となります。



講座日程と科目概要（予定）

【1日目】 9月23日（金・祝） 9：00～17：00

- 防災ワークショップ3:3:3 (講師) 天寺純香・推進委員会総合防災部長
- 災害と防災対策の基本 (講師) 千葉市総務局 危機管理課
- 実技訓練 (講師) 千葉市SLネットワーク
- 災害ボランティア概論 (講師) 澤野次郎・推進委員会委員長

【2日目】 9月24日（土曜） 9：00～17：00

- 避難所運営について (講師) 千葉市SLネットワーク
- 修了後の地域活動の仕組みについて (講師) 推進委員会 事務局
- 災害ボランティア活動の安全衛生と図上演習 (講師) 天寺純香・推進委員会総合防災部長
- 認定式・事務連絡

※講師の都合により時間、内容が変更になる場合があります。

※詳細時間割は、お申込みいただいた方へ送付いたします。

感染症対策へのご協力をお願い

- ・新型コロナウイルス感染症の感染対策として講義中はマスクを着用の上ご参加ください。
- ・申込者送付の健康チェック票への記入、提出をお願いします（開催前日、当日2日分の体温及び体調確認）。
- ・休み時間、食事前後は手洗い、消毒を心掛けてください。

応募資格ほか

1. 応募資格

災害救援ボランティアに必要な基礎的知識・技能を身につけることを希望する人で、原則として2日間受講できる人として（但し、高校在学の方は保護者の承諾が必要です）。

2. 定員

25名 ※定員になり次第締め切ります。（締切9月15日）

3. 費用

一人 15,000円 学生 10,000円

4. 講座会場

千葉市消防局・中央消防署 講堂（千葉県千葉市中央区長洲1-2-1）

※会場地図等は講座申込者に別途郵送いたします。会場は変更になる場合がございます。